

令和5年度事業報告書

学校法人 緑ヶ岡学園

1. 法人の概要

(1) 法人の名称・所在地

法人の名称 : 学校法人緑ヶ岡学園
 法人の所在地 : 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(2) 設置する学校・学科等

釧路短期大学 生活科学科、幼児教育学科
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号
 武修館高等学校 全日制課程・普通科
 北海道釧路市武佐5丁目9番1号
 武修館中学校
 北海道釧路市武佐5丁目9番1号
 釧路短期大学附属幼稚園
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(3) 入学定員、総定員、学生数の状況

(単位:人)

収 入		入学定員	総定員	入学者数	総学生数	充 足 率
短期大学	生活科学科	50	100	44	77	77.0 %
	幼児教育学科	50	100	28	72	72.0 %
	計	100	200	72	149	74.5 %
武修館高等学校	普通科	140	420	78	265	70.7 %
武修館中学校		40	120	—	17	14.2 %
短期大学附属幼稚園			75	16	64	85.3 %
学 園 合 計		280	815	166	495	60.7 %

(4) 理事・監事・評議員・教職員の概要等

理 事 定数 7名～10名 現員 7名
 監 事 定数 2名 現員 2名
 評議員 定数 15名～22名 現員 16名
 教職員

	専任教員	専任職員	兼務教員	兼務職員	計
短期大学	17人	13人	36人	2人	68人
武修館高等学校	24人	8人	25人	5人	62人
武修館中学校	4人	1人	25人	2人	32人
短期大学附属幼稚園	10人		8人	4人	22人
学 園 合 計	55人	22人	94人	13人	184人

2. 事業の概要

(1) 法人

経営強化推進計画の推進 (R元～R5)
 高等学校・中学校の電灯のLED化
 短期大学の消火器取替、変圧器の改修等
 高等学校・中学校のホームページ改編
 幼稚園のバス安全装置、遊具等の整備

(2) 釧路短期大学

釧路短期大学は、北海道東部地域の豊富な学習資源を基盤に、図書館司書・栄養士・保育士・幼稚園教諭など専門的職業人を育成している。学生の8割以上が地元出身であり、大多数が釧根地域で就職している。

本学は、教育理念の重要な柱に「地域貢献」を明示し、地域密着型教育の定着・拡充を進めている。そのために釧路短期大学・地域連携推進プログラムを策定し、地域連携推進の目標と計画を定め、より一層地域に開かれた地域に求められる大学たるよう多様な事業を行ってきた(令和5年5月の新型コロナウイルス感染症のいわゆる5類移行後は、様々な事業を特段の制限なしに実施した)。

令和5年度も教育活動、学生募集などについて教職員挙げて取り組んだが、この数年に顕著になってきた入学者の減少を押しとどめられず、令和6年度の入学者は定員のほぼ半数の(2学科計54名[入学定員100名])となり、本学の存続が揺らぐ状況がさらに深刻化したことは否めない。

1. 教育活動

(1) 生活科学科

- ①SPI等対策勉強会を5月から新規に実施し、学内合同企業説明会、就職講演会、受け入れ企業を交えたインターンシップ 報告会実施等キャリア教育に力を入れた。〈生活科学専攻〉
- ②インターンシップ、図書館実習を実施。〈生活科学専攻〉
- ③給食実務校内実習(100食×2日)、給食実務校外実習を実施。〈食物栄養専攻〉
- ④生活科学科両専攻ともに地域体験学習を実施。
- ⑤新しい栄養士養成のためのモデル・コア・カリキュラムに沿った栄養士養成カリキュラムを開始し2年が経過。〈食物栄養専攻〉
- ⑥臨床栄養学ゼミはコア大空の地域食堂を企画運営。〈食物栄養専攻〉
- ⑦入学前教育として調理実習、試食と交流、入学前課題の説明等を実施。
- ⑧高大接続の取り組みとして、池上学院の生徒に調理実習を実施。
- (2) 幼児教育学科
 - ①教育実習(幼稚園)、保育実習(保育所・施設)を実施。
 - ②実習指導系科目における学科1・2年生合同授業を実施。
 - ③科目「言語論」を集中講義とリモートで実施(3年目)。
 - ④全国保育士試験の会場校を担当、運営・監督人員を提供。
 - ⑤音楽表現ゼミがイベント「なつのたのしいコンサート(8/13、芸術館アートホール)」、「0歳からのファミリーコンサート」、「クリスマス・トーンチャイム演奏」等を実施。
- (3) FD・SD活動
 - ①FD研修「『成績評価』を評価する」学長 杉本龍紀
 - ②FD研修「プログテストの分析結果について」(株)リアセック代表取締役 近藤賢
- (4) 自己点検・評価活動
 - ①ステークホルダーからの意見聴取の一として、釧根管内高等学校から本学の教育活動に係る意見聴取を行い(入学者数・就職状況[地元就職状況を含む]、国家資格免許取得状況、釧路短期大学の教育目的および「三つの方針」、教育課程、入学者選抜制度、その他の意見)、本学の自己点検・評価活動と教育活動等の改善に向けた検討に活用。
- 2. 地域連携推進プログラムの取組
 - (1) 幼稚園教諭免許授与のための特例講座(現職保育士対象)を開講。
 - (2) KJCランド〜こどものあそびの日(教員・学生共同企画・運営)を実施(4年ぶりの一般開放で親子400名強が来場)。
 - (3) 管内高等学校へ「高校生のための出前講座」を実施。
 - (4) 釧路市との連携協力に関する協定に基づき、定期協議を実施し確認。
 - (5) 地産地消の推進をするための連携組織(くしろ地産地消ネットワーク)にて地域の課題解決に向けた検討を実施。
 - (6) リカレント講座「管理栄養士国家試験受験準備講習会」を実施(対面・Zoom開催)。
 - (7) リカレント講座「発達障害の理解と支援」を実施(対面・Zoom開催、くしろせんもん学校との共催)。
 - (8) ソロプチミスト釧路によるスポンサー校(北陽・白糠・武修館高校)とクラブ合同例会に参加。
 - (9) 釧路総合振興局による講演(「避難所運営ゲーム」を題材としたもの)を本学の共通教養科目「社会で生きる」にて実施(令和6年度も継続予定)。
- 3. 学生支援体制の整備
 - (1) ハローワーク就職支援ナビゲーターによる週1回の就職相談を実施。
 - (2) 全求職者のハローワーク求人登録を実施、卒業後の支援強化に取り組んだ。
 - (3) 学生の就職活動状況を学科内で共有し、ゼミナール担当教員などによる就活支援の体制を強化。
 - (4) ジョブカフェ北海道、ハローワークによる就活セミナー、電話対応セミナー、就職メイク講習、卒業生による就職講演会、学内合同企業説明会等を開催。
 - (5) 学生の相談体制を継続(健康調査により事前に傾向を把握、支援の早期化を検討)。
 - (6) 障害学生の不利益をなくす「合理的配慮」を行うため規程を整備し、支援を実施。
 - (7) 同窓会奨学基金制度による修学資金給付を実施(導入9年目、奨学生1名)。
 - (8) 学生研修講座を開催(「自分の体を知ろう」、「交通安全啓発講座」、「年金講座」、「ライフステージにまつわるお金の話」、「消費生活講座」、「デートDV防止について」、「法テラス」)。
 - (9) 初年次教育プログラム「司書による文献探索講座」を実施(3回)。
- 4. 附属図書館・生涯教育センター
 - (1) 令和5年度の図書館利用状況 蔵書冊数-48,923冊 入館者数-7,190人
貸出冊数 学生-1,627冊 教職員-601冊 学外者-286冊 合計2,514冊
学生1人あたり年間貸出冊数-11.1冊
 - (2) 司書による文献探索講座を実施。
 - (3) 公開セミナー「『のぞいてみよう釧路はこんなところ』刊行記念対談」を、外部講師2名を迎えて実施。

(3) 武修館高等学校

高等学校は、釧根地区唯一の私立高校として、独自の伝統と校風に基づき、「地域から信頼され、必要とされる私学」、「地域から期待される私学」を目指し、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に

基づき「社会の良き形成者としての資質と教養を身につけるとともに、愛と奉仕に生きる実践者の育成」を目指し教育活動を展開している。

生徒、保護者及び地域の多様なニーズに応えるため、①生徒個々の興味・関心、進路に応じたきめ細かな教育を実現し社会に有益な人材の育成を目指した普通コース、②高度な競技力の習得とともに心身の育成を図り、将来のスポーツ振興の担い手やトップアスリートの育成を目指した体育コース、③併設中学校との6年間の教育により国公立大学及び難関私立大学への進学を目指した一貫コースの3コースを設置し、それぞれ私学武修館でしか受けられない特化した教育を展開している。また、入学者の多数を占める普通コースには選択科目を多く設置し、科目選択の目安として3系列（特進系、進学A系、進学B系）を示し、個に応じた教育を可能としている。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、コロナ以前の教育活動が行なわれるようになった。

- ①3コースの目的に合った課外講習・長期休業中講習の実施。
- ②三大奉仕活動（市内一斉清掃・くしろパラスポフェスタの運営奉仕・献血奉仕）をはじめとする奉仕活動の継続実施。
- ③地域に定着した武修生の挨拶・礼儀の徹底。
- ④中卒者の減少期における生徒確保（魅力ある授業の構築と生徒に寄り添った指導の推進、多くの選択科目設置、ガイダンス機能を充実した指導体制の構築、コースの見直し等）。
- ⑤実践英語及び異文化理解を深めるため、ホームステイを柱としたカナダでの語学研修の計画（一貫コース1・2年生合同）。
- ⑥漢検・英検・数検及び商業・情報系検定等の各種検定対策講座の充実・実施。
- ⑦職場見学（1年）、インターンシップ（2年）等によるキャリア教育の充実。
- ⑧進路実績（令和6年3月卒業生徒）

	進学						就職			未定	卒業数
	国立大学	公立大学	私立大学	私立短大	専修各種	計	公務員	民間団体	計		
R5	1	1	42	2	10	62	5	24	29	0	91
R4	0	3	38	3	28	72	8	20	28	2	102
R3	2	2	24	8	38	74	2	20	22	8	104
R2	5	2	50	9	27	93	6	23	29	10	132
H31	3	0	30	13	41	87	9	40	49	8	144
H30	6	0	36	6	15	63	3	20	23	0	87
H29	3	5	32	9	18	67	2	23	25	7	97
H28	1	3	28	2	17	51	6	22	28	9	88
H27	4	5	26	3	11	49	5	15	20	8	77
H26	2	3	27	6	13	51	5	26	31	13	88
H25	3	2	20	5	31	61	9	26	35	4	100

国公立大学：釧路公立大2 準大学：防衛大学校

私立大学：中央大、関西大、関西学院大、専修大、東洋大、近畿大、東海大、北海学園大、北星学園大、札幌大等多数

公務員（消防、町役場職員、自衛官等）

- ⑨就学支援制度の保護者への周知徹底による活用促進。
（外部制度：就学支援金・授業料軽減・北海道高等学校奨学会・日本学生支援機構）
（本校独自制度：兄弟姉妹授業料減免・経済支援奨学生）
- ⑩交通安全への意識醸成。（春の全国交通安全運動に伴う「5者合同出動式」への参加、外部専門家を招いての講演（中高合同）の実施。）
- ⑪学校行事への保護者の支援・協力体制の構築とPTA活動の活性化。
（校外研修会への積極的参加、武窓祭・湿原強歩大会での協力、会員研修会の実施）
- ⑫経費節減運動の継続実施。
- ⑬特別外部広報チームを軸とした生徒募集の強化。 新入生100名の確保
- ⑭校内研修や教育内容の検証を通じた教職員の意識改革。
- ⑮主要行事報告

4月 8日 令和5年度始業式

4月10日 第60回入学式（78名）中高入学生、保護者原則各家庭1名、教職員の参加

4月14日 市内一斉清掃奉仕活動（三大奉仕活動・中高合同）

4月22日 授業参観、学級懇談会、PTA・体育文化後援会総会、特別奨学生伝達式

5月18日 JRC・IRC加盟登録式

6月 6日 クロームブック新入生配布

6月12日 教育実習生受入（3週間）

7月 7日～8日 武窓祭 保護者来校1日目27名、2日目60名

7月22日 第1回オープンスクール（生徒110名参加（前年度108名参加））

7月26日～8月18日 夏季休業

8月 2日～8日 夏季講習

8月24日 中学校進路担当者説明会(教員28名参加)
 9月15日 見学旅行(普通・体育コース)保護者説明会(保護者41名来校)
 9月25日 自動車免許保護者説明会(保護者59名参加)
 10月 3日～5日 インターンシップ(2年)
 10月18日 国際ソロプチミスト(Sクラブ)助成金・表彰状贈呈
 10月19日 体育祭(2日程)
 10月21日 第2回オープンスクール(生徒71名参加(前年度47名参加))
 10月25日 体育コースゴルフ実習
 10月27日 1年生職場体験
 10月27日～31日 見学旅行(関西・東京方面)普通・体育コース
 11月10日 高校生ライフデザイン講座(1・2学年)
 11月12日 くしろパラスポーツフェスタ運営奉仕活動
 11月16日 薬物乱用防止教室
 11月17日 「高校生と語る集い」参加 PTA・生徒会
 11月20日～21日 献血奉仕活動
 12月15日 推薦入学試験(29名合格(R5年度36名合格、R4年度28名合格))
 12月19日 海外語学研修旅行保護者説明会(一貫1・2年合同実施)
 12月26日～1月18日 冬季休業
 1月 9日～12日 冬季講習
 1月15日 専願入学試験(18名合格(R5年度14名合格、R4年度34名合格))
 2月14日 一般学力入学試験 釧路市観光国際交流センターにて実施 受験者742名
 2月20日 海外見学旅行(2年一貫)海外語学研修旅行(一貫1年)事前説明会
 3月 1日 第58回卒業式 来賓9名御臨席
 3月 7日～12日 海外語学研修旅行(一貫1年)カナダ 生徒8名参加
 3月11日 献血奉仕活動
 3月15日～19日 海外見学旅行(一貫2年)グアム 生徒10名参加

(4) 武修館中学校

中学校は、平成17年の開校以来、道東唯一の私立併設型中高一貫校として6年間の教育を通じ、校訓「愛と奉仕に生きる」に基づいた「高い知性と豊かな心を持ち国際感覚豊かな生徒の育成」を目指した計画的な教育活動を展開してきた。特に、中高の接続をスムーズに「生徒個々が課題解決や目標実現に向けて、自ら考え、自ら行動し、解決するなどの力の育成」に注力し、国公立大学及び難関私立大学への進学を後押ししてきた。その結果、東京大学への現役合格、北大・東京外語大などの名門国立大への連続年合格、公私の大学医学部への3名の合格、慶応大学法学部をはじめ難関私大への合格と着実に成果を上げた。

しかしながら、少子化による児童の減少と地域の私学への理解の薄さ(公立偏重)を改むに及ばなかったことにより、募集定員(開校時定員80名、現在定員40名)は開校以来一度も満たされず、定員充足率は50%に満たない状況が続いた。特に、平成23年度から平成25年度までの3年間の高校一貫コースの卒業生徒数は、7名、9名、9名と連続一桁となり厳しい状況であった。さらには、平成30年度中学入学生8名、令和4年度入学生5名と本来の学校教育活動の展開を難しいものにした。

以上のことから、令和5年度以降の入学生徒の募集停止を決定した。

令和6年3月卒業生については、3名の生徒が併設の武修館高校(特進系2名、進学A・B系1名)に内進し、残り7名は外進(湖陵3名、北陽1名、工業1名、高専1名、クラーク1名)した。そのため、武修館高校の一貫コース生の在籍は0である。

現3年生5名の卒業をもって、学校を閉じることになるが、この1年、これまで以上の充実した教育活動を展開する。

I 募集停止決定経過

ア 令和4年5月25日 理事会にて令和5年度武修館中学校の入学生の募集停止を決定

イ 令和4年6月21日 中高職員会議にて令和5年度中学校の募集停止を報告(説明)

ウ 令和4年7月25日 中学校保護者全体懇談会を開催し、募集停止を報告(説明)

<保護者全体懇談会資料抜粋>

1 令和5年度入学生徒募集について

(1) 報告事項

令和5年度武修館中学校の入学希望者の募集を実施しないことを、緑ヶ岡学園理事会にて決定されましたので御報告いたします。そのため、令和5年度入学者選抜試験は実施いたしません。

在校生については、本校での6年間の中高一貫教育を保証いたします。そのため、現中学1年生が中学校を卒業後、中学校を閉じ、現中学1年生が武修館高等学校を卒業後、一貫コースを撤廃いたします。

(2) 決定に至った事由

- ①開校以来、1学年の生徒数が20名～25名を満たすことが少なかったこと。
そのため、目指す教育が完全には実施できなかったこと。
- ②現高校1年生の8名入学、そして現中学1年生の5名入学は、これまでの本校の教育においても課題とされてきた、少人数の中でのグループ化などの人間関係づくりや体育・芸術などの授業及び学校祭・体育祭などの集団的教育、他者と進めるべき探究活動など社会性を育む教育を一層難しくさせたこと。
- ③少子化及び日本製紙の撤退により、今後も生徒確保が難しいこと。
- ④学校経営の悪化。

エ 令和4年7月27日 市内小学校及び関係小学校への文書による通知

オ 令和4年7月28日 報道機関へ通知 本校ホームページに掲載

II 特色ある教育

- ①異文化理解の深化と英語力の向上を図るため、長期アメリカ留学及び貿易会社勤務経験のある時間講師(臨時免許)の継続採用。
- ②大学入試改革への対応と語学学習の充実に向けた中学校と高等学校の見学旅行の一本化。
(高等学校1年次に2週間の海外研修の実施)
- ③学習理解を深めるための個別指導の強化と自主性を重んじた課外学習の実施。
(火・木7時間目、英・数・国の3科目)
- ④漢検・英検・数検の上位級合格を目指した講習の実施。
- ⑤ボランティア活動への積極的参加による豊かな心の醸成。
(市内一斉清掃、くしろパラスポーツ、高齢者との触れ合い等の活動)
- ⑥身体づくりを目指した体育的行事の充実。(体育祭・遠足・スケート教室等)
- ⑦地域・企業等との連携によるキャリア教育の充実。
- ⑧経費節減運動の継続実施。
- ⑨主要行事報告

4月 8日 令和5年度始業式

4月14日 市内一斉清掃奉仕活動(三大奉仕活動:中高合同)

4月22日 授業参観、学級懇談会、特別奨学生伝達式

4月27日 学力推移調査

5月 8日 漢字英単語テスト

5月 8日～19日 三者面談

5月18日 JRC・IRC加盟登録式(HR単位で実施)

6月28日 職場体験

7月 7日～8日 武窓祭

7月26日～8月18日 夏季休業

8月 1日～4日 夏季講習

8月 4日 2学年学級懇談会

9月 2日 内進生保護者説明会(保護者4名出席)

9月14日 バス遠足(別保公園)2・3学年

9月19日 学力推移調査

10月19日 体育祭

11月12日 くしろパラスポフェスタ運営ボランティア活動

11月16日 思春期ライフデザイン講話

11月22日 救急救命講座

12月11日 税の作文入賞者表彰(3年伊藤さん)

12月22日 クリスマス会

12月26日～1月18日 冬季休業

1月 9日～12日 冬季講習

1月19日 漢字英単語テスト

1月26日 スケート教室

2月 2日 文教テスト

2月 3日 カルタ大会

3月16日 第17回卒業式 来賓5名御臨席

(5) 釧路短期大学附属幼稚園

①基本方針(教育目標)

i) 明るく元気に遊ぶ子ども

ii) 素直で優しい子ども

iii) 最後までやりぬく子ども

※3つの教育目標を達成するため、教職員は日々の保育を計画し実践する。

◎子ども達の遊びを応援する幼稚園

◎小学校への継続を踏まえた保育を行い、卒園後も見守る幼稚園

※2つの方針のもと、日々の保育を計画的に進めていく

②令和5年度事業の特色

- i)各クラス2名以上の職員による設定保育と全職員による自由遊びの充実
- ii) 幼小連携の継続と強化
- iii) 感染予防等のため卒園児お泊まり会は実施できなかった。(今後は行わない方向)
- iv) 子育て支援(未就園児クラス カンガルークラブの充実)
- v) 子育て支援事業の充実(親子で集うさくらんぼクラブ・子育て相談の充実)
- vi) ふぞく祭(バザー)を取り止め、ふぞくこども祭り(お買い物ごっこ)に保護者と連携する
- vii) 固定遊具の定期点検による安全確保と衛生意識の向上
- viii) 幼稚園型認定こども園として長時間の預かり保育に配慮した運営

③通常事業

- i) 体験重視の保育内容＝園外保育の拡大
- ii) 釧路短期大学との連携＝学生の保育見学、行事参加、幼稚園からの授業協力
- iii) 預かり保育の充実＝働く保護者の支援
- iv) 保育を必要とする園児(2号)の長時間保育の充実
- v) スケート保育＝地域性を生かした保育
- vi) 祖父母交流会の開催
- vii) 学校評価・自己評価の充実
- viii) コロナウイルス収束を踏まえた園行事の見直し
- ix) 父母会との連携協力・父さんズの活動
- x) 小・中・高校生の見学・職場体験の受け入れ
- xi) ケース会議や担任・副担任交替など、子ども達を複数で見守り支援する取り組み
- xii) 若手教員の育成と、園内・園外での研修の推進

④職員数及び園児数(2024.3.31)

		令和5年度	令和4年度	令和3年度
職員数	園長	1	1	1
	教員	9	6	9
	教員【パート】	7	7	6
	職員	0	0	0
	職員【パート】	4	5	4
園児数	5歳児	20	25	23
	4歳児	25	22	26
	3歳児	19	23	24
	満3歳児	7	5	5
	計	71	75	78
	カンガルークラブ	11	14	18

3. 財務の概要

(事業活動収支計算書)

(単位:千円)

		R3年度	R4年度	R5年度	備考
教育活動収支	収入	678,468	689,094	620,973	
	支出	722,022	746,916	700,638	
	収支差額	△43,554	△57,822	△79,665	
教育活動外収支	収入	13	9	10	
	支出	606	449	291	
	収支差額	△593	△440	△281	
経常収支差額		△44,147	△58,262	△79,946	
特別収支	収入	18,973	8,992	6,934	
	支出	0	0	5,233	
	収支差額	18,973	8,992	1,701	
基本金組入前当年度収支差額		△25,174	△49,270	△78,245	
基本金組入額		47,079	30,943	8,429	
当年度収支差額		△72,253	△80,213	△86,674	
人件費総額		486,049	505,779	462,285	
補助金総額		348,071	347,879	335,656	
借入金期末残高		173,630	129,420	91,210	
翌年度繰越支払資金		543,371	508,085	426,576	
学生・生徒数(人)		594	549	495	
		教69、職34	教69、職34	教69、職34	